



H18.11.17 1218
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 18年度県政さわやかタウンミーティングが開催される

県農業水産部水産総室ではこのほど、県下3会場において「18年度県政(水産)さわやかタウンミーティング」を開催し、策定を進めている新「静岡県水産基本政策プログラム案」(19~21年度)の骨子について、県東中西部地区の水産関係者に説明し、質疑応答・意見交換を行いました。

県からは坂水産総室長をはじめ、各室長、県水試場長らが出席し、水産業界からは各地区の漁協、加工組合、県漁連、県内水面漁連、県水産加工連などの水産関係者が出席しました。

現行の同プログラムを見直した新プログラム案では、水産業をめぐる現状について「食の安心・安全への関心が高まっている」「漁獲量が減少傾向にある」「漁業の担い手が高齢化している」「厳しい漁協経営が続いている」「水産加工品の生産量が減少している」「元気のない漁村が増えている」などと分析しました。

これに対応する施策への視点として、現行の 消費者の求める水産物の生産・供給「海の恵み」の持続的利用 魅力ある漁村を目指した豊かで活力ある「浜」づくりの3つに、新たに 次代を担う「人」・「組織」づくり 水産業を支える研究の推進を加えた、5つの視点を設けて、各視点に基づく施策の方向、展開を示しました。

2. 密漁防止研修会を開催

南伊豆町漁協、県密漁防止対策協議会では11月9日、南伊豆町中央公民館において、南伊豆町漁協所属の採貝漁業関係者等約60人が出席して、密漁防止研修会を開催しました。

研修会では、全漁連漁政国際部沼田課長役が「密漁防止に関する取り組み」、全漁連密漁防止等監視委員で漁村振興コンサルタントの田中克哲氏が「密漁監視の基礎知識」をテーマに講演が行われました。

沼田課長役はプロジェクターを使いながら、全国の密漁防止対策の実例を列挙するとともに、適用法令、漁業権侵害、漁業調整規則などについて説明しました。

また、密漁防止体制の整備では、組織的な密漁が多発していることなどから、取り締まり機関と連携した漁場監視活動等が大切であると説明しました。

3. イキイキ高校生おさかな料理コンクール最優秀賞を決定 -県おさかな普及協議会-

県おさかな普及協議会では11月11日、鈴木学園中央調理製菓専門学校静岡校(静岡市葵区)において、「第2回イキイキ高校生おさかな料理コンクール」の実技審査会を開催しました。

この料理コンクールは、『さかな大好き! 私だけのオリジナル』をテーマに県内の高校生を対象に、静岡で水揚げされる魚介類や海藻類を使った、高校生らしい独創性のある料理(レシピ)を募集したものです。

実技審査会には、応募のあった県下22校・209作品のうち、既に書類審査会(一次審査)

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

で選考された10作品の入選者が出場し、アイデアあふれる私だけのオリジナル料理に腕を競い合いました。

審査は7人の審査員によって、高校生らしい独創性(アイデア、オリジナリティがある) 普及性(家庭への調理導入が期待できる) 健康性(素材や栄養的なバランスが取れている) 味・香りのよさ(魚の持っている特性が十分活かされている) 調和性(色合い・盛り付けの取り合わせに考慮がなされている)などをポイントに審査が行われました。

その結果、魚や食べる人に対する気配りと、栄養バランスに考慮した取り組みが高く評価され、アジ・イカなどを素材に料理を創作した、高橋茉莉さん(静岡サレジオ校2年)の「海沼(かいしょう)の鰯(あじ)あい」が栄えある最優秀賞(県知事賞)に輝きました。

また、優秀賞(県おさかな普及協議会長賞)には齋籐三鈴さん(松崎校1年)の「夏バテ予防隊」が選ばれました。

更に、優良賞2点のうち、(県水産物商業協同組合理事長賞)には中山 静さん(庵原校2年)の「まぐろの和桜風味春巻き」、(県魚市場協会会長賞)には三田沙永子さん(浜松市立校2年)「まぐろの天ちゃん」がそれぞれ選ばれました。

同協議会では、今後、これらの作品をレシピ集にまとめ、県下の高等学校、鮮魚小売店等やイベント時に配布し、一般においても献立に活用されるよう魚食普及に努めていきます。

4. 丸一よしのり後援会が事務所開き

次期参議院選挙にオール水産で推薦する<丸一よしのり氏>の後援会・事務所開きが、11月9日コープビル(東京・内神田)で行われ、出席した水産団体関係者等150名が、丸一氏を激励するとともに業界の更なる結束を誓い合いました。

冒頭、植村正治後援会長(JF全漁連会長)が、出席した水産団体関係者や国会議員に謝意を述べるとともに挨拶を行いました。次に、自民党から竹山 裕参議院議員(水産総合調査会長)をはじめ、他の水産議員からも激励の言葉が述べられました。

丸一氏は「浜を回り熱意を感じた。私を男にしてくれるのは浜の皆さんです。不退転の覚悟で立候補しますので、よろしくお願ひします」と決意を述べました。

なお、後援会の副会長は水産各団体の代表、JF全国女性連やJF全国漁青連の会長など、幹事長は宮原邦之JF全漁連専務、幹事は水産団体等の専務クラスで構成されます。事務局は、市村隆紀事務局長(丸一よしのり後援会事務所長)ほか3人の計4名体制となります。

5. 会議・日程(11月21日(火)~12月4日(月))

- 既報分省略 -

11月21日(火) 県JF共済推進本部 = 運営委員会 (県水産会館)

11月24日(金) 県信漁連 = 理事会 (")

11月27日(月)~28日(火) 県漁連 = 平成18年度組合長会議 (")

11月28日(火) 県遊漁船業協会 = 安全指導講習会 (土肥総合会館)

11月30日(木) 静岡県水産振興推進協議会

= 自民党県連・農林水産対策連絡協議会陳情 (ブケ東海)

11月30日(木) 県養鰻協会 = 養鰻研修会 (舞阪文化センター)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう